

平成 19 年 7 月 10 日
日本銀行盛岡事務所

岩 手 県 金 融 経 済 概 況

1. 概 況

県内経済は、緩やかな回復を続けている。

最終需要の動向をみると、公共投資が前年を下回ったほか、設備投資も前年を下回っている。一方、住宅投資は引き続き前年を上回っている。この間、個人消費は横這い圏内で推移している。

こうした中、生産は増加基調を維持しているが、雇用情勢は横這いの動きとなっている。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は総じてみれば横這い圏内で推移しているが、気温の上昇を受け百貨店・スーパーなどで持ち直しの動きがみられる。

(大型小売店売上高)

百貨店の売上高は、6 月中旬以降の気温上昇を受け、主力の夏物衣料品が好調なことから、前年並みの水準に回復してきている。スーパーの売上高については、夏物衣料品の販売が堅調なほか、寝具（夏物の薄手シーツ等）や冷菓・清涼飲料なども前年を上回っており、全体としては持ち直し傾向を続けている。

(家電量販店売上高)

家電販売は、パソコンが伸び悩んでいるが、薄型テレビやゲーム機、高性能の白物家電などが堅調に推移している。

(乗用車新車登録台数)

乗用車新車登録台数（軽自動車を含む）は、軽自動車は前年を上回ったものの、全体では小型車を中心に前年を下回って推移している。

(2) 公共投資

公共工事請負金額は、大型工事の発注が一服したこともあり、前年を下回った。

(3) 住宅投資

新設住宅着工戸数は、貸家の増加を中心に、前年を上回って推移している。

(4) 設備投資

2007年度の設備投資計画(6月短観調査結果)をみると、製造業は、前年度をやや下回る計画となっており、非製造業は、情報通信の大型投資一巡から、前年度を大きく下回る計画となっている。

3. 生産動向

生産は、一部に弱めの動きもうかがわれるが、総じてみれば増加基調を続けている。

(電子部品類)

電子部品・デバイスでは、薄型テレビなどのデジタル家電や携帯電話向けを中心に高操業が続いている。

(輸送用機械)

完成車、自動車部品とも、海外の好調な需要を背景に高水準の生産を続けている。

(一般機械)

自動車関連向け工作機械の生産が好調なほか、各種機械部品も幅広い分野から注文が入り高操業を続けている。

(その他)

情報通信機械では、基地局の設備投資一巡から、移動局通信装置などの生産が減少している。鉄鋼の線材は、自動車向けを中心にフル操業を続けている。窯業・土石は、公共工事の出荷が低調ながら、民間向けが堅調なことから、全体では横這い圏内で推移している。

4. 雇用・所得の動向

雇用情勢をみると、5月の有効求人倍率（季節調整値）は、0.78倍と2ヶ月連続して上昇した。一方、新規求人倍率（同上）は、1.10倍と前月に比べ0.08ポイント低下した。

この間、雇用者所得は、一人当たり名目賃金が前年水準を下回って推移していることを主因に、前年割れの状態が続いている。

5. 企業倒産

6月の企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数6件（前年同月比25%）、負債総額1,356百万円（同58%）と、比較的落ち着いている。

6. 金融面の動向

預金動向をみると、法人預金や公金預金が前年を下回っているものの、個人預金が堅調に推移していることから、全体では前年並みとなっている。

一方、貸出動向をみると、個人向けは住宅ローンを中心に堅調に推移しているが、法人向けが総じて低調なうえ、地公体向けも一部に借入返済の動きがみられ、全体でも前年を下回っている。この間、貸出金利は、緩やかな上昇が続いている。

以 上

本件に関する問い合わせ先 日本銀行盛岡事務所 TEL : 019-624-3622 (代) http://www3.boj.or.jp/morioka/
--